

2023(令和5)年度

入学者選抜要項

重要

新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更となる可能性があります。最新情報は「学生募集要項」および本学ウェブサイトをご覧ください。



公立大学法人

国際教養大学

Akita International University

目 次

| | |
|-------------------------|---|
| 1. 入学者選抜方針 | 1 |
| (1) 国際教養大学のミッションステートメント | 1 |
| (2) 国際教養大学の特徴 | 1 |
| (3) 国際教養大学が求める学生像 | 1 |
| (4) 国際教養大学の入学者選抜方法 | 1 |
| 2. 経費（学費等） | 4 |
| 3. 入学者選抜日程等 | 5 |
| (1) 2023（令和5）年4月入学 | 5 |
| (2) 2023（令和5）年9月入学 | 6 |
| (3) 身体に障がいのある入学志願者の事前相談 | 6 |
| (4) 個人情報の取り扱いについて | 6 |
| 4. 入学定員・募集人員等 | 7 |
| 5. 一般選抜入学試験 | 7 |
| (1) 出願資格 | 7 |
| (2) 入学者選抜方法 | 7 |
| (3) 英語資格等保持者への特例措置 | 8 |
| (4) 試験の実施教科・科目 | 8 |
| (5) 配点 | 9 |
| (6) 試験会場 | 9 |
| (7) インターネット出願について | 9 |

| | |
|---------------------|----|
| 6. 特別選抜入学試験 | 10 |
| (1) 総合選抜型入試Ⅰ（4月入学） | 10 |
| (2) 総合選抜型入試Ⅱ（9月入学） | 11 |
| (3) 学校推薦型入試 | 12 |
| (4) 外国人留学生入試Ⅰ（4月入学） | 13 |
| (5) 外国人留学生入試Ⅱ（9月入学） | 14 |
| (6) 社会人入試 | 15 |
| (7) グローバル・セミナー入試 | 16 |
| (8) グローバル・ワークショップ入試 | 16 |
| (9) ギャップイヤー入試（9月入学） | 17 |
| 7. 編入学・転入学試験 | 18 |
| I. 4月入学 | 18 |
| (1) 2年次相当 | 18 |
| (2) 3年次相当 | 19 |
| II. 9月入学 | 20 |
| (1) 2年次相当 | 20 |
| (2) 3年次相当 | 21 |
| 別紙1 入試別英語資格一覧表 | 22 |
| 別紙2 各国の大学入学資格一覧表 | 24 |
| 別紙3 成績・卒業に関する証明書一覧 | 25 |
| ○大学案内等の請求方法 | 27 |

1. 入学者選抜方針

(1) 国際教養大学のミッションステートメント

国際教養大学は、「国際教養教育」を教学理念に掲げ、グローバル社会におけるリーダーを育成することを使命とします。

国際教養教育は、世界の広範な事象に関する幅広い知識と深い理解、物事の本質を見抜く洞察力や思考力、これらの上に築かれたグローバルな視野とともに、英語をはじめとする外国語の卓越したコミュニケーション能力を涵養します。

国際教養教育を受けた者は、確固たる「個」を確立し、道義心の修養を通じて開かれた高潔な精神と情熱を持って時代の諸課題に立ち向かい、自らが暮らす地域や所属する国家のみならず広く人類社会に貢献します。

(2) 国際教養大学の特徴

- ① 教育重視の立場から、国籍・年齢・性別を問わず教育に熱意と能力のある教職員を広く世界に求め、外国人が半数を占める教授陣により、すべての授業を英語で行います。
- ② 異文化体験を通じた国際的な視野とセンスを身に付けるため、1年間の海外留学を義務付け、併せて、全世界から留学生が集う国際色豊かな教育環境とキャンパスライフを提供します。
- ③ 異文化社会との恒常的な交流を基礎とする世界に開かれた大学として、2022年6月現在で51カ国・地域200校の提携大学をはじめ、広く世界の諸大学と連携を深めます。
- ④ 学生は少数精鋭とし、入学後1年間は全員に寮生活を義務づけることなどを通じて、全人格的な教育を行います。
- ⑤ すべての教員への任期制の適用など、教育力を最優先に掲げる挑戦的な大学です。

(3) 国際教養大学が求める学生像

本学は、その理念に共感する次のような学生を求めています。

主体的に学ぶ意欲が強く、鋭い問題意識を持つ学生であって、

- 社会科学、人文科学、自然科学の広い分野について均衡のとれた基礎学力、論理的、批判的、創造的な思考力を身に付けた学生あるいは、特定分野について卓越した経験や能力を有しながらより広い分野について学修を深めようとする意欲を持つ学生
- 海外での学修経験や諸活動への参加経験、国内での国際交流事業などに積極的参加を経験するなど世界の多様な文化、言語、歴史、社会などの国際関係について強い関心と探究心を持つ学生
- 国際社会を舞台に活躍できるような実践的な外国語運用能力（特に英語）と、幅広い教養の修得を志す学生

(4) 国際教養大学の入学者選抜方法

本学では、一定の基礎学力の上に、多彩な能力及び資質を備えた学生を選抜するため、多様な入学試験を実施します。

【一般選抜試験】

大学入学共通テストを課すとともに、二次試験として個別学力検査等を実施します。

大学入学共通テストの成績の複数年度利用は行いません。

A日程およびB日程は、大学入学共通テストにおいてそれぞれ5教科及び3教科の試験、個別学力検査として、国語及び英語の試験を実施し、受験生が重点を置いて学習した教科に配慮しつつ、均衡のとれた基礎学力を評価します。

C日程は、大学入学共通テストにおける英語の基礎学力を評価するとともに、個別学力検査として英語小論文を課し、論理的な思考力や英語による表現力を評価します。

○他の国公立大学との併願等について

本学は、一般選抜試験においては、分離・分割方式による国公立大学の入学選抜に参加せず、別日程で個別学力検査を行うため、他の国公立大学との併願も、特別な条件なしで認めます。

つまり、本学に合格・入学手続きしても、その後、他の国公立大学への入学に何ら支障を与えることはなく、逆に他の国公立大学に合格・入学手続きした後も、最終的に本学を選択し、入学することができます。

なお、本学に出願の際は、入学志願票に、大学入試センターから志願者に送付される「大学入学共通テスト成績請求票」の「私立大学・公私立短期大学用」を貼り付けて提出していただくことになります。

○特別科目等履修生制度

本学には、一般選抜試験において残念ながら合格に到らなかった受験者のうち、成績上位者で、勉学意欲に満ち、本学への入学を強く希望する者を「特別科目等履修生」として登録し、1年間の履修成績によって、次年度、編入学・転入学試験を経て、正規学生（2年次）となる制度（特別科目等履修生制度）があります。

特別科目等履修生は、1年間正規学生と全く同じ学生生活を送るため、学生寮に入寮します。したがって、授業料をはじめ、寮費についても、正規学生と同様の費用がかかります。なお、入学料は28,200円ですが、2年次に正規生になった場合には別途、入学金423,000円（秋田県内出身者は282,000円）を支払います。

- (1) 募集人員は、若干名です。
- (2) 一般選抜試験を受験することが前提条件となります。
- (3) 一般選抜試験で合格に到らなかった受験者の中で、出願時に「特別科目等履修生」を希望し、成績上位者であった者を「特別科目等履修生候補者」として発表します。候補者となった者は、希望すれば「特別科目等履修生」として登録され、正規学生とともに1年間履修することになります。
- (4) 特別科目等履修生が履修した科目については、成績評価及び単位認定を行い、一定以上の成績および単位を修めた者については、次年度、正規学生（2年次）に編入学・転入学する受験資格を得ることができます。
- (5) 特別科目等履修生の期間に取得した単位については、正規学生（2年次）登録後、卒業要件単位として認定します。

【特別科目等履修生の正規学生（2年次）への編入学・転入学受験資格条件】

- ① E A P（英語集中プログラム）を修了すること
- ② E A PⅢを含む21単位を取得すること
- ③ G P Aが2.5以上

なお、所定の成績を修められなかった場合は、編入学・転入学受験資格を失うこと（退学）になります。

【特別選抜試験】

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、選抜方法がオンライン等に変更となる可能性があります。最新情報は「学生募集要項」および本学ウェブサイトをご覧ください。

① 総合選抜型入試（4月入学、9月入学）

書類選考により、英語能力が特に高い水準であるか、もしくは高等学校等在学時の留学経験を評価するとともに、英語小論文および日本語と英語での面接により、英語の読解力や表現力、論理的思考力および本学での学習意欲を評価します。

② 学校推薦型入試（4月入学）

書類選考により、幅広い基礎学力を十分に備えているか、課外活動などに特に積極的に取り組んだか、および英語能力が一定の水準以上であるか、などを評価するとともに、英語小論文および日本語と英語での面接により、英語の読解力や表現力、論理的思考力および本学での学習意欲を評価します。

③ 外国人留学生入試（4月入学、9月入学）

日本国籍および日本国の永住許可を得ていない外国人で、学校教育法による学校教育（以下「学校教育」という。）における12年の課程を修了した者を対象とします。

書類選考により、幅広い基礎学力を十分に備えているか、および英語能力が一定の水準以上であるかなどを評価するとともに、志望理由書により本学での学習意欲を評価します。

④ 社会人入試（4月入学）

一定の年齢に達した社会人を対象とします。

書類選考により、英語能力が一定の水準以上であるかなどを評価するとともに、英語小論文および日本語と英語での面接により、英語の読解力や表現力、論理的思考力および本学での学習意欲を評価します。

⑤ グローバル・セミナー入試（4月入学）

秋田県内の高等学校に在籍している者を対象とします。

4月と8月に開催するグローバル・セミナーで作成・提出した2点のレポート、面接、所属高等学校の調査書や自己アピール書に基づき、評価します。

⑥ グローバル・ワークショップ入試（4月入学）

エントリー期間に必要な書類を提出し、書類審査によって出願候補者となった者を対象とします。

ワークショップでの活動及び面接、所属高等学校の調査書や自己アピール書に基づき、評価します。

⑦ ギャップイヤー入試（9月入学）

ギャップイヤー活動計画書、調査書の内容、英語小論文試験および日本語と英語での面接により、英語の読解力や表現力、論理的思考力や本学での学習意欲、およびギャップイヤー活動計画を評価します。

【編入学・転入学試験】

① 編入学・転入学Ⅰ（4月入学 2年次及び3年次）

② 編入学・転入学Ⅱ（9月入学 2年次及び3年次）

書類選考により、本学への編入・転入に足る学力を十分に備えているか、および英語能力が一定の水準以上であるかなどを評価するとともに、英語小論文と面接により、読解力や表現力、論理的思考力および学習意欲を評価します。

2. 経費（学費等）

○入学検定料：17,000円／回

○入 学 金：423,000円（秋田県外出身者）

282,000円（秋田県内出身者）

○授 業 料：696,000円

○寮 費：582,720円／年間

（2023（令和5）年度予定額、部屋代、学期中の食事代、退去時清掃費等を含む）

○その他の経費（2022（令和4）年度実績）

・学 生 活 動 費：39,000円（在学期間分、ただし1年間の留学期間を除く）

・「保護者の会」会費：20,000円（在学期間分）

・学 研 災 等 保 険 料：4,660円

・「同 窓 会」会費：20,000円（終身会費）

・英語能力テスト受験料：50,000円程度

・教 科 書 代 金：50,000～70,000円程度／学期

○初年度必要経費

入学金＋授業料＝1,119,000円（秋田県内出身者 978,000円）

寮費＋学生活動費等＝約 85万円

計 約200万円（秋田県内出身者 約185万円）

なお、上記は2022（令和4）年度実績、及び2023（令和5）年度予定額であり、金額は変更される場合があります。

3. 入学者選抜日程等

(1) 2023（令和5）年4月入学

| 選 抜 の 種 類 | 一 般 選 抜 試 験 | | |
|-----------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | A 日 程 | B 日 程 | C 日 程 |
| 募集要項の発表 | 2022（令和4）年10月上旬 | | |
| 出願書類等の受付 | 2023（令和5）年1月11日 ～20日 | 2023（令和5）年1月16日 ～2月1日 | 2023（令和5）年2月13日 ～3月1日 |
| 試 験 日 | 2023（令和5）年2月4日 | 2023（令和5）年2月18日 | 2023（令和5）年3月14日 |
| 合格者の発表 | 2023（令和5）年2月13日 | 2023（令和5）年2月27日 | 2023（令和5）年3月22日 |
| 入 学 手 続 | 2023（令和5）年2月14日 ～17日 | 2023（令和5）年2月28日 ～3月3日 | 2023（令和5）年3月23日 ～27日 |

| 選 抜 の 種 類 | 特 別 選 抜 試 験 | | |
|-----------|---------------------|-------------------------|---|
| | グローバル・セミナー入試 | グローバル・ワークショップ入試 | 総合選抜型入試Ⅰ |
| 募集要項の発表 | 2022（令和4）年8月上旬 | 2022（令和4）年8月上旬 | 2022（令和4）年7月下旬 |
| エントリー期間 | — | 2022（令和4）年5月17日 ～23日 | — |
| 書類審査の結果通知 | — | 2022（令和4）年 6月30日以降 | — |
| 出願書類等の受付 | 2022（令和4）年9月12日～20日 | | |
| 試 験 日 | 面接 2022（令和4）年10月15日 | | 面接 2022（令和4）年10月15日 英語小論文 2022（令和4）年10月16日 |
| 合格者の発表 | 2022（令和4）年11月1日 | | |
| 入 学 手 続 | 2022（令和4）年11月2日～9日 | | |

| 選 抜 の 種 類 | 特 別 選 抜 試 験 | |
|-----------|---|-------|
| | 学校推薦型入試 | 社会人入試 |
| 募集要項の発表 | 2022（令和4）年7月下旬 | |
| 出願書類等の受付 | 2022（令和4）年11月4日～11月9日 | |
| 試 験 日 | 面接 2022（令和4）年11月26日 英語小論文 2022（令和4）年11月27日 | |
| 合格者の発表 | 2022（令和4）年12月7日 | |
| 入 学 手 続 | 2022（令和4）年12月8日～15日 | |

| 選 抜 の 種 類 | 特 別 選 抜 試 験 | |
|-----------|--------------------------------|---|
| | 外国人留学生入試Ⅰ | 編入学・転入学試験Ⅰ |
| | | 2年次 |
| 募集要項の発表 | 2022（令和4）年7月下旬 | |
| 出願書類等の受付 | 2022（令和4）年10月21日～11月9日 | |
| 試 験 日 | （書類選考） | 面接 2022（令和4）年11月26日 英語小論文 2022（令和4）年11月27日 |
| 合格者の発表 | 2022（令和4）年12月7日 | |
| 入 学 手 続 | 2022（令和4）年12月8日～2023（令和5）年1月6日 | |

（注1）同日に実施される試験は、併願できません。

(2) 2023 (令和5) 年9月入学

| 選 抜 の 種 類 | 特 別 選 抜 試 験 | | |
|-----------|---|---------------------|-----------------------------|
| | ギャップイヤー入試 | 総 合 選 抜 型 入 試 II | 外国人留学生入試II |
| 募集要項の発表 | 2022 (令和4) 年7月下旬 | 2023 (令和5) 年2月中旬 | 2022 (令和4) 年10月中旬 |
| 出願書類等の受付 | 2022 (令和4) 年11月4日 ～9日 | 2023 (令和5) 年7月上旬 | 2023 (令和5) 年2月1日 ～25日 |
| 試 験 日 | 面接 2022 (令和4) 年11月26日 英語小論文 2022 (令和4) 年11月27日 | 2023 (令和5) 年7月下旬 | (書類選考) |
| 合格者の発表 | 2022 (令和4) 年12月7日 | 2023 (令和5) 年8月 | 2023 (令和5) 年3月22日 |
| 入 学 手 続 | 2022 (令和4) 年12月8日 ～15日 | 2023 (令和5) 年8月 | 2023 (令和5) 年3月23日 ～4月14日 |

(注2) 同日に実施される試験は、併願できません。

(注3) 「総合選抜型入試II」に関する詳細は、後日発表します。

| 選 抜 の 種 類 | 編入学・転入学試験II | |
|-----------|-------------------------|-----|
| | 2年次 | 3年次 |
| 募集要項の発表 | 2022 (令和4) 年10月中旬 | |
| 出願書類等の受付 | 2023 (令和5) 年2月1日～25日 | |
| 試験の実施 | 2023 (令和5) 年3月14日 | |
| 合格者の発表 | 2023 (令和5) 年3月22日 | |
| 入 学 手 続 | 2023 (令和5) 年3月23日～4月14日 | |

(3) 身体に障がいのある入学志願者の事前相談

身体に障がいがあり受験上および修学上特別な配慮を必要とする場合は、事前に事務局アドミッションズ・オフィスに相談をしてください。

なお、事前相談の期限については、後日公表する学生募集要項において明示しますが、相談の内容によっては、本学の試験日までに対応できず、特別措置が講じられないこともありますので、なるべく早めに相談をしてください。

(4) 個人情報の取り扱いについて

入学選抜において得られた個人情報については次のとおり取り扱います。

出願した者は下記記載内容に同意したものとみなします。

- 1) 個人情報は「秋田県個人情報保護条例」(平成12年秋田県条例第138号)を遵守するとともに、「公立大学法人国際教養大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期します。
- 2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、追跡調査、入学後の学生支援関係(奨学金、授業料免除、健康管理等)、修学指導等の教育目的および授業料徴収以外には利用しません。

4. 入学定員・募集人員等

| 学部 | 学科 | 定員 | 募 集 人 員 | | | | | | | | | | | |
|----------------|----------------|-----|---------|---------|---------|--------------|---|--------------|--------------|-----|------------|------------------|--------------------------|----------------|
| | | | 一般選抜試験 | | | 特 別 選 抜 試 験 | | | | | | | | |
| | | | A 日程 | B 日程 | C 日程 | 総合選抜型 入 試 | | 学校推薦型 入 試 | 外国人 留学生入試 | | 社会人 入 試 | グローバル・ セミナー入試 | グローバル・ ワークショップ 入 試 | ギャップイヤー 入 試 |
| I | II | I | | | | II | | | | | | | | |
| 国際 教養 学部 | 国際 教養 学科 | 175 | 55 | 40 | 5 | 10 | 5 | 35 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 15 | 5 | 5 |

(注) 学部一括で募集します。

5. 一般選抜入学試験

本学は、A日程、B日程、C日程のそれぞれの間で併願を認めます。(一般選抜試験では最大3回の受験機会があります。) また、他の国公立大学および私立大学との併願も可能です。

(1) 出願資格

入学を志願することのできる者は、次のいずれかに該当する者とします。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または2023（令和5）年3月に卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または2023（令和5）年3月に修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2023（令和5）年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、調査書の内容、大学入学共通テストの成績（複数年度利用は不可）および個別学力試験等の成績を総合して行います。

(注) 調査書は出身学校長が発行してください。留学単位認定されている場合は、海外の高等学校等の成績証明書（写し可。ただし、校長の原本証明を付したものを）を添付してください。なお、出身学校が被災等の理由によって調査書の提出ができない場合は、これに代わる機関の証明をもって調査書に代えることができます。

また、大学入学資格検定または高等学校卒業程度認定試験合格者、国際バカロレア資格取得者等は、その成績証明書等をもって調査書に代えることができます。

指導要録の保存期間の経過等により、調査書が得られない場合には、卒業証明書と成績証明書等をもって調査書に代えることができます。

(3) 英語資格等保持者への特例措置

次の **別紙 1** (23ページ) に掲げるスコアまたは等級を所持している者については、当該スコアまたは等級を証明する書類を出願書類に添付してください。(写し不可)

当該書類を提出した者については、受験した大学入学共通テストにおける英語科目を満点と換算し、合否判定します。(大学入学共通テストにおける英語科目の受験は必須です)

なお、全ての英語資格に関し、出願期間最終日から2年以内に取得したものを対象とします。

(4) 試験の実施教科・科目

| 試験形態 | 大学入学共通テスト | 個別学力試験 | 大学入学共通テスト 留意事項 |
|------|--|--|--|
| A日程 | <ul style="list-style-type: none"> ○国語 ○外国語(英語) リスニング含む。 ○地理歴史・公民(世B、日B、地B、現社、倫理、政経、倫・政経)から1科目 ○数学(数I、数I・A、数II、数II・B)から1科目 ○理科(物、化、生、地)から1科目または(物基、化基、生基、地基)から2科目 | <ul style="list-style-type: none"> ○国語(国語総合・国語表現・現代文B) (近代以降の文章) ○英語(コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II) | <ul style="list-style-type: none"> ○各教科において2科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用。ただし、理科(物基、化基、生基、地基)については、2科目の合計点を1科目の得点として扱う。 |
| B日程 | <ul style="list-style-type: none"> ○外国語(英語) リスニング含む。 ○国語、地理歴史・公民(世B、日B、地B、現社、倫理、政経、倫・政経)、数学(数I、数I・A、数II、数II・B)、理科(物、化、生、地)から2教科2科目、または理科の基礎科目(物基、化基、生基、地基)を選択する場合は2教科3科目 | <ul style="list-style-type: none"> ○国語(国語総合・国語表現・現代文B) (近代以降の文章) ○英語(コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II) | <ul style="list-style-type: none"> ○「地理歴史・公民」「数学」「理科」について2科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用。ただし、理科(物基、化基、生基、地基)については、2科目の合計点を1科目の得点として扱う。 |
| C日程 | <ul style="list-style-type: none"> ○外国語(英語) リスニングを含む。 | <ul style="list-style-type: none"> ○英語小論文 | |

(5) 配点

[A日程]

| 試験種別 | 英語 | | 国語 | 地理歴史 ・公民 | 数学 | 理科 | 合計 |
|-----------|--------|-------|------|-------------|------|------|------|
| | リーディング | リスニング | | | | | |
| 大学入学共通テスト | 80点 | 20点 | 100点 | 100点 | 100点 | 100点 | 500点 |
| 個別学力試験 | 100点 | | 100点 | — | — | — | 200点 |

[B日程]

| 試験種別 | 英語 | | 選択科目 (2科目) | 合計 |
|-----------|--------|-------|-----------------|------|
| | リーディング | リスニング | | |
| 大学入学共通テスト | 80点 | 20点 | 200点 (各100点) | 300点 |
| 試験種別 | 英語 | | 国語 | 合計 |
| 個別学力試験 | 100点 | | 100点 | 200点 |

[C日程]

| 試験種別 | 英語 | | 英語小論文 | 合計 |
|-----------|--------|-------|-------|------|
| | リーディング | リスニング | | |
| 大学入学共通テスト | 160点 | 40点 | — | 200点 |
| 個別学力試験 | — | | 200点 | 200点 |

(注1) 大学入学共通テストの英語の配点は、リーディングとリスニングの得点(各100点満点)をA日程およびB日程においてリーディングを80点満点、リスニングを20点満点にC日程においてリーディングを160点満点、リスニングを40点満点に換算します。

(注2) 大学入学共通テストの国語の配点は、200点満点を100点満点に換算します。

(6) 試験会場(詳細は、募集要項等で発表します。)

[A・B・C日程]

| 名称 | 試験会場 |
|-------|-------------|
| 秋田会場 | 国際教養大学キャンパス |
| 札幌会場 | 札幌市 |
| 仙台会場 | 仙台市 |
| 東京会場 | 東京都 |
| 名古屋会場 | 名古屋市 |
| 大阪会場 | 大阪市 |
| 福岡会場 | 福岡市 |

(7) インターネット出願について

本学では、一般選抜試験のみインターネットによる出願を行っています。インターネット出願に関する詳細は、募集要項等で発表します。

なお、特別選抜試験については、紙の願書での出願となります。

6. 特別選抜入学試験

(1) 総合選抜型入試 I (4月入学)

| | |
|-----------|---|
| 募 集 人 員 | 国際教養学部 10名 (ただし、学校推薦型入試と合わせて募集人員の半数程度は、下記「出願資格」1) および2) に該当する者のうち卒業学校(見込みを含む。)が秋田県内である者とする。) |
| 出 願 資 格 | 次のいずれかに該当する者で、入学までに原則として18歳に達する者 1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または2023(令和5)年3月までに卒業見込みの者 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または2023(令和5)年3月までに修了見込みの者 3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同程度以上の学力があると認められる者または2023(令和5)年3月までにこれに該当する見込みの者 |
| 出 願 要 件 | 本学での勉学に対し、熱意と適性を有し、合格した場合には、必ず入学することを確約できる者で、次のいずれかに該当する者 1) 別紙1 (22ページ) に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者 ただし、中等教育の最終学年を含め3年以上継続して英語で教育を受け、卒業している(または見込みの)場合、 <u>それを証明する書類</u> (※)をもって、 別紙1 の英語資格を証明する書類に代えることができます。 なお、TOEFL ITP® テストおよび TOEIC® IP テストのスコアは出願要件として認められません。 2) 海外において、日本における高等学校にあたる教育機関に1年間程度在籍し、当該教育機関での学修結果を、日本での所属高等学校における履修単位として30単位程度認められた者 3) 日本国内において、IB(国際バカロレア)カリキュラムのDP(Diploma Program)を修了し、最終試験6科目に合格した者または2023(令和5)年3月までにその見込みの者 |
| 選 抜 方 法 | 自己アピール書、調査書の内容、英語小論文試験および面接の結果を総合的に判定して合格者を決定します。 英語小論文試験は、基礎的学力、思考力および表現力などを判断します。 面接(日本語および英語)は、自己アピール書および調査書の内容をもとに英語力および勉学への意欲を判断します。 |
| 試 験 会 場 | 国際教養大学キャンパス |
| 専 願 / 併 願 | 専願 |

※教育現場における使用言語が通常英語であるとされる国・地域(アメリカ合衆国、オーストラリア等)・教育機関(各国のインターナショナルスクール等)であっても、「The medium of instruction is English」等の文言記載がある書類が必要となります。

(2) 総合選抜型入試Ⅱ（9月入学）

| | |
|-----------|---|
| 募 集 人 員 | 国際教養学部 5名 |
| 出 願 資 格 | 次のいずれかに該当する者で、入学までに原則として18歳に達する者 1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または2023（令和5）年8月までに卒業見込みの者 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または2023（令和5）年8月までに修了見込みの者 3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同 等以上の学力があると認められる者または2023（令和5）年8月までにこれに該当する見込みの者 |
| 出 願 要 件 | 本学での勉学に対し、熱意と適性を有し、合格した場合には、必ず入学することを確約できる者で、次のいずれかに該当する者 1) 別紙1 （22ページ）に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者 ただし、中等教育の最終学年を含め3年以上継続して英語で教育を受け、卒業している（または見込みの）場合、それを証明する書類（※）をもって、 別紙1 の英語資格を証明する書類に代えることができます。 なお、TOEFL ITP® テストおよび TOEIC® IP テストのスコアは出願要件として認められません。 2) 海外において、日本における高等学校にあたる教育機関に1年間程度在籍し、当該教育機関での学修結果を、日本での所属高等学校における履修単位として30単位程度認められた者 3) 日本国内において、IB（国際バカロレア）カリキュラムのDP（Diploma Program）を修了し、最終試験6科目に合格した者または2023（令和5）年8月までにその見込みの者 |
| 選 抜 方 法 | 自己アピール書、調査書の内容、英語小論文試験および面接の結果を総合的に判定して合格者を決定します。 英語小論文試験は、基礎的学力、思考力および表現力などを判断します。 面接（日本語および英語）は、自己アピール書および調査書の内容をもとに英語力および勉学への意欲を判断します。 |
| 試 験 会 場 | 国際教養大学キャンパス |
| 専 願 / 併 願 | 専願 |

※教育現場における使用言語が通常英語であるとされる国・地域（アメリカ合衆国、オーストラリア等）・教育機関（各国のインターナショナルスクール等）であっても、「The medium of instruction is English」等の文言記載がある書類が必要となります。

(3) 学校推薦型入試

| | |
|-----------|--|
| 募 集 人 員 | 国際教養学部 35名 (ただし、総合選抜型入試 I と合わせて募集人員の半数程度は、下記「出願資格」1) および 2) に該当する者のうち卒業学校(見込みを含む。)が秋田県内である者とする。) |
| 出 願 資 格 | 次のいずれかに該当する者 1) 日本国内の高等学校もしくは中等教育学校を2022(令和4)年3月以降に卒業した者または2023(令和5)年3月までに卒業見込みの者 2) 日本国内において通常の課程による12年の学校教育を2022(令和4)年3月以降に修了した者または2023(令和5)年3月までに修了見込みの者 3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2022(令和4)年3月から2023(令和5)年3月までの間に修了または修了見込みの者 4) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降で2022(令和4)年3月から2023(令和5)年3月までの間に修了または修了見込みの者 |
| 推 薦 要 件 | 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者で、次の1) 2) 3) または1) 4) に該当する者 1) 本学での勉学に対し、熱意と適性を有する者で、高等学校長等が責任を持って推薦できる者 2) 調査書の全体の学習成績の状況が原則として4.0以上である者 3) 別紙1 (22ページ)に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者 なお、TOEFL ITP [®] テストおよび TOEIC [®] IP テストのスコアは出願要件として認められません。 4) 学業やスポーツ、文化活動などの特定分野で、国際大会出場あるいは日本国内の全国規模の大会等で優秀な成績を修めた者またはこれに相当する実績を有する者 |
| 選 抜 方 法 | 推薦書、自己アピール書、調査書の内容、英語小論文試験および面接の結果を総合的に判定して合格者を決定します。 英語小論文試験は、基礎的学力、思考力および表現力などを判断します。 面接(日本語および英語)は、自己アピール書および調査書の内容をもとに英語力および勉学への意欲を判断します。 |
| 試 験 会 場 | 国際教養大学キャンパス |
| 専 願 / 併 願 | 専願 |

(4) 外国人留学生入試 I (4月入学)

| | |
|-----------|--|
| 募 集 人 員 | 国際教養学部 若干名 |
| 出 願 資 格 | <p>日本国籍を有せず、かつ日本国の永住許可または特別永住許可を得ておらず、次のいずれかに該当する者で、入学までに原則として18歳に達する者</p> <p>1) 学校教育における12年の課程を修了または2023(令和5)年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p>2) 中等教育課程修了まで12年を要しない国・地域において同課程を修了し、さらに上級学校に進学し、課程年数を加算して12年を超える、または2023(令和5)年3月31日までに超える見込みの者</p> |
| 出 願 要 件 | <p>次のすべての要件を満たす者</p> <p>1) 別紙2 (24ページ) に定める各国ごとの大学入学資格のいずれかを満たす者</p> <p>2) 別紙1 (22ページ) に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者 ただし、中等教育の最終学年を含め3年以上継続して英語で教育を受け、卒業している(または見込みの)場合、それを証明する書類(※)をもって、別紙1 の英語資格を証明する書類に代えることができます。 なお、TOEFL ITP® テストおよび TOEIC® IP テストのスコアは出願要件として認められません。</p> <p>3) 出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)において大学入学に支障のない在留資格を取得でき、2023(令和5)年3月31日までに日本に入国できる者</p> |
| 選 抜 方 法 | <p>出願要件の証明書を提出させ、基礎的学力を評価します。所属長または最終出身学校の校長もしくは教員の推薦書により、学力以外の長所・素質等を評価します。</p> <p>志願理由書(英文500語程度)により、本学での学習意欲を評価します。</p> <p>必要に応じ、インターネットを使ったビデオ通話サービスによる面接を実施し、論理的な思考力や表現力を評価します。</p> |
| 専 願 / 併 願 | 併願 |

※教育現場における使用言語が通常英語であるとされる国・地域(アメリカ合衆国、オーストラリア等)・教育機関(各国のインターナショナルスクール等)であっても、「The medium of instruction is English」等の文言記載がある書類が必要となります。

(5) 外国人留学生入試Ⅱ（9月入学）

| | |
|-----------|---|
| 募 集 人 員 | 国際教養学部 若干名 |
| 出 願 資 格 | <p>日本国籍を有せず、かつ日本国の永住許可または特別永住許可を得ておらず、次のいずれかに該当する者で、入学までに原則として18歳に達する者</p> <p>1) 学校教育における12年の課程を修了または2023（令和5）年8月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p>2) 中等教育課程修了まで12年を要しない国・地域において同課程を修了し、さらに上級学校に進学し、課程年数を加算して12年を超える、または2023（令和5）年8月31日までに超える見込みの者</p> |
| 出 願 要 件 | <p>次のすべての要件を満たす者</p> <p>1) 別紙2（24ページ）に定める各国ごとの大学入学資格のいずれかを満たす者</p> <p>2) 別紙1（22ページ）に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者 ただし、中等教育の最終学年を含め3年以上継続して英語で教育を受け、卒業している（または見込みの）場合、それを証明する書類（※）をもって、別紙1の英語資格を証明する書類に代えることができます。 なお、TOEFL ITP[®] テストおよび TOEIC[®] IP テストのスコアは出願要件として認められません。</p> <p>3) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において大学入学に支障のない在留資格を取得でき、2023（令和5）年8月31日までに日本に入国できる者</p> |
| 選 抜 方 法 | <p>出願要件の証明書を提出させ、基礎的学力を評価します。所属長または最終出身学校の校長もしくは教員の推薦書により、学力以外の長所・素質等を評価します。</p> <p>志願理由書（英文500語程度）により、本学での学習意欲を評価します。</p> <p>必要に応じ、インターネットを使ったビデオ通話サービスによる面接を実施し、論理的な思考力や表現力を評価します。</p> |
| 専 願 / 併 願 | 併願 |

※教育現場における使用言語が通常英語であるとされる国・地域（アメリカ合衆国、オーストラリア等）・教育機関（各国のインターナショナルスクール等）であっても、「The medium of instruction is English」等の文言記載がある書類が必要となります。

(6) 社会人入試

| | |
|-----------|---|
| 募 集 人 員 | 国際教養学部 若干名 |
| 出 願 資 格 | <p>2023（令和5）年4月1日現在、満23歳に達し本学において4年間にわたり勉学しようとする意欲があり、次の1）～3）のいずれかに該当する者</p> <p>1）2018（平成30）年3月31日以前に高等学校又は中等教育学校を卒業した者、ただし定時制または通信制課程の高等学校については、卒業（または卒業見込み）が2018（平成30）年4月1日から2023（令和5）年3月31日までの者</p> <p>2）2018（平成30）年3月31日以前に通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>3）2018（平成30）年3月31日以前に学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業と同等以上の学力があったと認められる者</p> |
| 出 願 要 件 | <p>本学での勉学に対し、熱意と適性を有し、合格した場合には、必ず入学することを確約できる者で、別紙1（22ページ）に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者</p> <p>ただし、中等教育の最終学年を含め3年以上継続して英語で教育を受け、卒業している（または見込みの）場合、<u>それを証明する書類</u>（※）をもって、別紙1の英語資格を証明する書類に代えることができます。</p> <p>なお、TOEFL ITP[®] テストおよび TOEIC[®] IP テストのスコアは出願要件として認められません。</p> <p>外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者は、別紙2（24ページ）に定める各国ごとの大学入学資格のいずれかを満たす必要があります。</p> |
| 選 抜 方 法 | <p>自己アピール書、履歴書、参考資料（社会人としての活動がある場合）の内容、英語小論文試験および面接の結果を総合的に判定して合格者を決定します。英語小論文は、基礎的学力、思考力および表現力などを判断します。面接（日本語および英語）は、自己アピール書、履歴書および成績証明書等の内容を、さらに参考資料が提出されている場合は、その内容をもとに英語力および勉学への意欲を判断します。</p> |
| 試 験 会 場 | 国際教養大学キャンパス |
| 専 願 / 併 願 | 専願 |

※教育現場における使用言語が通常英語であるとされる国・地域（アメリカ合衆国、オーストラリア等）・教育機関（各国のインターナショナルスクール等）であっても、「The medium of instruction is English」等の文言記載がある書類が必要となります。

(7) グローバル・セミナー入試

| | |
|-------|--|
| 募集人員 | 国際教養学部 15名 |
| 出願資格 | 秋田県内の高等学校等に在籍し、次のすべてに該当する者 1) 高等学校もしくは中等教育学校を2023（令和5）年3月までに卒業見込みの者 2) 国際教養大学が2022（令和4）年度に実施するグローバル・セミナーに参加した者 |
| 出願要件 | 本学での勉学に対し、熱意と適性を有するもので、高等学校長等が責任を持って推薦できる者 |
| 選抜方法 | 自己アピール書、調査書の内容、グローバル・セミナーで作成・提出したレポート2点および面接の結果を総合的に判定して合格者を決定します。 グローバル・セミナーの際に作成・提出したレポートは、思考力および表現力などを判断します。 面接（日本語および英語）は自己アピール書および調査書の内容をもとに英語力および勉学への意欲を判断します。 |
| 試験会場 | 国際教養大学キャンパス |
| 専願／併願 | 併願：他の国公立大学および私立大学との併願可、ただし同日に行われるグローバル・ワークショップ入試、総合選抜型入試Ⅰとの併願不可 |

(8) グローバル・ワークショップ入試

| | |
|-------|---|
| 募集人員 | 国際教養学部 5名 |
| 出願資格 | 次のいずれかに該当する者で、入学までに原則として18歳に達する者 1) 高等学校もしくは中等教育学校を2022（令和4）年4月以降に卒業した者または2023（令和5）年3月までに卒業見込みの者 2) 通常の課程による12年の学校教育を2022（令和4）年4月以降に修了した者または2023（令和5）年3月までに修了見込みの者 3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同程度以上の学力があると認められる者で2022（令和4）年4月から2023（令和5）年3月までにこれに該当する見込みの者 |
| 出願要件 | 本学での勉学に対し、熱意と適性を有するもので、合格した場合には、必ず入学を確約できる者 エントリー期間に必要書類を提出し、書類審査によって出願候補者となった者 |
| 選抜方法 | 自己アピール書、調査書の内容、グローバル・ワークショップで作成・提出したレポート、同ワークショップでの活動および面接の結果を総合的に判定して合格者を決定します。 |
| 試験会場 | 国際教養大学キャンパス |
| 専願／併願 | 専願 |

(9) ギャップイヤー入試 (9月入学)

| | |
|-----------|--|
| 募 集 人 員 | 国際教養学部 5名 |
| 出 願 資 格 | 次のいずれかに該当する者で、入学までに原則として18歳に達する者 1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または2023(令和5)年3月までに卒業見込みの者 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または2023(令和5)年3月までに修了見込みの者 3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または2023(令和5)年3月までにこれに該当する見込みの者 |
| 出 願 要 件 | 本学での勉学に対し、熱意と適性を有し、合格した場合には、必ず9月に入学することを確約できる者 なお、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者は、 別紙2 (24ページ)に定める各国ごとの大学入学資格のいずれかを満たす必要があります。 |
| 選 抜 方 法 | ギャップイヤー活動計画書、調査書の内容、英語小論文試験および面接の結果を総合的に判定して合格者を決定します。 英語小論文試験は、基礎的学力、思考力および表現力などを判断します。 面接(日本語および英語)は、自己アピール書および調査書の内容をもとに英語力および勉学への意欲を判断します。 |
| 試 験 会 場 | 国際教養大学キャンパス |
| 専 願 / 併 願 | 専願 |

ギャップイヤー活動について

本試験は11月中に選抜を行い、合格者を決定しますが、入学日は翌年9月1日です。つまりアカデミックイヤーのグローバル・スタンダードに対応するとともに、高校等での勉学からすぐに大学での学修に移行せずに、ある程度の猶予期間(ギャップイヤー)を設け、様々な活動を通じて、本学で学ぶグローバルな知識・思考能力をより能動的、具体的に身につけていただくための制度です。

合格者は、4月から8月までの期間、「入学予定者」として扱われ、この間の「ギャップイヤー活動」が義務づけられます。

(注) ※活動は、自らが設定した課題やテーマに基づくものとします。

※「ギャップイヤー活動」は国内外を問いませんが、活動中の経費は本人負担となり、事故等の責任も本人が負います。

※ギャップイヤー活動の実施にあたっては、本学教職員が助言・指導にあたり、活動期間中は大学との定期的な連絡、経過報告等が必要です。

7. 編入学・転入学試験

I. 4月入学

(1) 2年次相当

| | |
|---------|--|
| 募 集 人 員 | 国際教養学部 7名 |
| 出 願 資 格 | <p>次の(1)～(4)のいずれかに該当する者。ただし、(1)～(3)の場合は、現に本学に在学している者は出願できない。</p> <p>(1) 大学、短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または2023(令和5)年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者または2023(令和5)年3月修了見込みの者(学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)</p> <p>(3) 大学において1年以上在学し、30単位程度を修得した者または2023(令和5)年3月までに同要件を満たす者</p> <p>(4) 本学の特別科目等履修生として所定の成績を修めた者</p> <p>※ 履修済みの科目の内容と単位数を確認しますので、出願者は2022(令和4)年10月6日(木)までに英文成績証明書の原本及び履修した科目の内容がわかる書類《講義概要、シラバス等(英文が望ましい)》を提出してください。(封筒には「編入学・転入学試験書類在中」と朱書き願います。)</p> |
| 出 願 要 件 | <p>(1) 別紙1 (22ページ)に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者</p> <p>TOEFL ITP[®] テストのスコアは出願要件として認められません。</p> <p>(2) 日本国籍を有しない者については、出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)において大学入学に支障のない在留資格を取得でき、2023(令和5)年3月31日までに日本に入国できる者</p> <p>(3) 出願資格の(4)に該当する者は、編入学・転入学に必要な成績を修めていること</p> |
| 選 抜 方 法 | <p>推薦書、志願理由書、調査書、大学等在籍時の成績、英語小論文試験および面接の結果を総合的に判定して合格者を決定します。</p> <p>英語小論文試験は、基礎的学力、思考力および表現力などを判断します。</p> <p>面接(日本語および英語)は、推薦書、志願理由書、調査書などの内容をもとに英語力および勉学への意欲を判断します。</p> |
| 試 験 会 場 | 国際教養大学キャンパス |

(2) 3年次相当

| | |
|---------|---|
| 募 集 人 員 | 国際教養学部 1名 |
| 出 願 資 格 | <p>次の(1)～(3)のいずれかに該当する者。ただし、原則として高等教育機関における2年以上の学修を英語で行った者(内、少なくとも1年間は、海外の高等教育機関で学修した者)に限る。</p> <p>(1) 大学、短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または2023(令和5)年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者または2023(令和5)年3月修了見込みの者(学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)</p> <p>(3) 大学において2年以上在学し、60単位程度を修得した者または2023(令和5)年3月までに同要件を満たす者</p> <p>※ 履修済みの科目の内容と単位数を確認しますので、出願者は2022(令和4)年10月6日(木)までに英文成績証明書の原本及び履修した科目の内容がわかる書類《講義概要、シラバス等(英文が望ましい)》を提出してください。(封筒には「編入学・転入学試験書類在中」と朱書き願います。)</p> |
| 出 願 要 件 | <p>(1) 別紙1 (22ページ)に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者</p> <p>TOEFL ITP[®] テストのスコアは出願要件として認められません。</p> <p>(2) 日本国籍を有しない者については、出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)において大学入学に支障のない在留資格を取得でき、2023(令和5)年3月31日までに日本に入国できる者</p> |
| 選 抜 方 法 | <p>推薦書、志願理由書、調査書、大学等在籍時の成績、英語小論文試験および面接の結果を総合的に判定して合格者を決定します。</p> <p>英語小論文試験は、基礎的学力、思考力および表現力などを判断します。</p> <p>面接(日本語および英語)は、推薦書、志願理由書、調査書などの内容をもとに英語力および勉学への意欲を判断します。</p> |
| 試 験 会 場 | 国際教養大学キャンパス |

II. 9月入学

(1) 2年次相当

| | |
|---------|---|
| 募 集 人 員 | 国際教養学部 1名 |
| 出 願 資 格 | <p>次の(1)～(3)のいずれかに該当する者。ただし、現に本学に在学している者は出願できない。</p> <p>(1) 大学、短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または2023(令和5)年8月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者または2023(令和5)年8月修了見込みの者(学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)</p> <p>(3) 大学において1年以上在学し、30単位程度を修得した者または2023(令和5)年8月までに同要件を満たす者</p> <p>※ 履修済みの科目の内容と単位数を確認しますので、出願者は2023(令和5)年1月6日(金)までに英文成績証明書の原本及び履修した科目の内容がわかる書類《講義概要、シラバス等(英文が望ましい)》を提出してください。(封筒には「編入学・転入学試験書類在中」と朱書き願います。)</p> |
| 出 願 要 件 | <p>(1) 別紙1 (22ページ)に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者</p> <p>TOEFL ITP[®] テストのスコアは出願要件として認められません。</p> <p>(2) 日本国籍を有しない者については、出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)において大学入学に支障のない在留資格を取得でき、2023(令和5)年8月31日までに日本に入国できる者</p> |
| 選 抜 方 法 | <p>推薦書、志願理由書、調査書、大学等在籍時の成績、英語小論文試験および面接の結果を総合的に判定して合格者を決定します。</p> <p>英語小論文試験は、基礎的学力、思考力および表現力などを判断します。</p> <p>面接(日本語および英語)は、推薦書、志願理由書、調査書などの内容をもとに英語力および勉学への意欲を判断します。</p> |
| 試 験 会 場 | 国際教養大学キャンパス |

(2) 3年次相当

| | |
|---------|---|
| 募 集 人 員 | 国際教養学部 1名 |
| 出 願 資 格 | 次の(1)～(3)のいずれかに該当する者。ただし、原則として高等教育機関における2年以上の学修を英語で行った者(内、少なくとも1年間は、海外の高等教育機関で学修した者)に限る。 (1) 大学、短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または2023(令和5)年8月までに卒業見込みの者 (2) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者または2023(令和5)年8月修了見込みの者(学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。) (3) 大学において2年以上在学し、60単位程度を修得した者または2023(令和5)年8月までに同要件を満たす者 ※ 履修済みの科目の内容と単位数を確認しますので、出願者は2023(令和5)年1月6日(金)までに英文成績証明書の原本及び履修した科目の内容がわかる書類《講義概要、シラバス等(英文が望ましい)》を提出してください。(封筒には「編入学・転入学試験書類在中」と朱書き願います。) |
| 出 願 要 件 | (1) 別紙1 (22ページ)に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者 TOEFL ITP® テストのスコアは出願要件として認められません。 (2) 日本国籍を有しない者については、出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)において大学入学に支障のない在留資格を取得でき、2023(令和5)年8月31日までに日本に入国できる者 |
| 選 抜 方 法 | 推薦書、志願理由書、調査書、大学等在籍時の成績、英語小論文試験および面接の結果を総合的に判定して合格者を決定します。 英語小論文試験は、基礎的学力、思考力および表現力などを判断します。 面接(日本語および英語)は、推薦書、志願理由書、調査書などの内容をもとに英語力および勉学への意欲を判断します。 |
| 試 験 会 場 | 国際教養大学キャンパス |

別紙 1 入試別英語資格一覧表

1. 特別選抜試験における出願要件

- ・スコアまたは等級の有効期限は、試験実施団体が定める有効期限のものとし、かつ出願期間最終日から2年以内とします。(写し不可)

| | | 選 抜 の 種 類 | | | | | |
|----------------------------|---|-------------|------------------|-----------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | | 学校推薦型 入試 | 総合選抜型 入試 I・II | 社会人 入試 | 外国人留学生 入試 I・II | 編転入 I・II (2年次) | 編転入 I・II (3年次) |
| 英 語 資 格 試 験 | TOEFL iBT® | 45点以上 | 61点以上 | 45点以上 | 61点以上 | 71点以上 | 79点以上 |
| | TOEIC® L&R+S&W | 840点以上 | 1100点以上 | 840点以上 | 1100点以上 | — | — |
| | 英検 | 2級以上 | 準1級以上 | 準2級以上 | 準1級以上 | — | — |
| | 英検 CBT | 2級以上 | 準1級以上 | 準2級以上 | 準1級以上 | — | — |
| | 英検 S-CBT | 2級以上 | 準1級以上 | 準2級以上 | 準1級以上 | — | — |
| | 英検 S-Interview | 2級以上 | 準1級以上 | 準2級以上 | 準1級以上 | — | — |
| | IELTS™ | バンド5.5以上 | バンド6.0以上 | バンド5.0以上 | バンド6.0以上 | バンド6.5以上 | バンド6.5以上 |
| | GTEC CBT タイプ | 800点以上 | 1000点以上 | 800点以上 | 1000点以上 | — | — |
| | GTEC Advanced※ | 800点以上 | 1000点以上 | 800点以上 | 1000点以上 | — | — |
| | TEAP | 230点以上 | 300点以上 | 230点以上 | 300点以上 | — | — |
| | TEAP CBT | 430点以上 | 700点以上 | 430点以上 | 700点以上 | — | — |
| | ケンブリッジ英語検定 (B2 First および B2 First for schools 以上) | — | 170点以上 | — | 170点以上 | — | — |

※GTEC検定版、オフィシャルスコアに限る。

○新型コロナウイルス感染症対策による配慮

2023(令和5)年度入学試験に限り以下の英語資格について、要件を満たす英語資格として採用します。スコア、バンドについては上記一覧表の同資格試験に準じます。

- ・ TOEFL iBT® Home Edition
- ・ IELTS™ Indicator
- ・ Computer-delivered IELTS (CD IELTS)

2. 一般選抜試験における英語資格保持者への特例措置

- ・スコアまたは等級の有効期限は、試験実施団体が定める有効期限のものとし、かつ出願期間最終日から2年以内とします。(写し不可)

| | | 一 般 選 抜 |
|----------------------------|---|-------------|
| | | A日程・B日程・C日程 |
| 英 語 資 格 試 験 | TOEFL iBT® | 72点以上 |
| | TOEIC® L&R+S&W | 1200点以上 |
| | 英検 | 準1級以上 |
| | 英検 CBT | 準1級以上 |
| | 英検 S-CBT | 準1級以上 |
| | 英検 S-Interview | 準1級以上 |
| | IELTS™ | バンド6.5以上 |
| | GTEC CBT タイプ | 1200点以上 |
| | GTEC Advanced※ | 1200点以上 |
| | TEAP | 360点以上 |
| | TEAP CBT | 760点以上 |
| | ケンブリッジ英語検定 (B2 First および B2 First for schools 以上) | 176点以上 |

※GTEC検定版、オフィシャルスコアに限る。

○新型コロナウイルス感染症対策による配慮

2023（令和5）年度入学試験に限り以下の英語資格について、要件を満たす英語資格として採用します。スコア、バンドについては上記一覧表の同資格試験に準じます。

- ・ TOEFL iBT® Home Edition
- ・ IELTS™ Indicator
- ・ Computer-delivered IELTS (CD IELTS)

別紙2 各国の大学入学資格一覧表

| 教育制度 | 大 学 入 学 資 格 |
|---------------|--|
| アメリカ合衆国 | <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校を卒業する（Diploma を得る）こと ・SAT（コード番号：7472）またはACTを受験していること |
| カナダ | <ul style="list-style-type: none"> ・各州における統一試験を受験し、その際に現地の大学進学に必要な科目（単位）について合格（取得）していること ・統一試験がない州については、現地の高校の卒業証明書もしくは修了証明を得ること ※各州により教育制度が異なるため、上記に該当しない場合はアドミッションズ・オフィスまで問い合わせること |
| イギリス | <ul style="list-style-type: none"> ・GCE（A レベル）を1科目以上受験していること（日本語科目を除く。） |
| ドイツ | <ul style="list-style-type: none"> ・Abitur 資格試験に合格していること |
| フランス | <ul style="list-style-type: none"> ・Baccalaureat 資格試験に合格していること |
| オーストラリア | <ul style="list-style-type: none"> ・各州における統一試験を受験し、その際に現地の大学進学に必要な科目（単位）について合格（取得）していることを証明するもの ・統一試験がない州については、現地の高校の卒業証明書もしくは修了証明書 ※各州により教育制度が異なるため、上記に該当しない場合はアドミッションズ・オフィスまで問い合わせること |
| ニュージーランド | <ul style="list-style-type: none"> ・Year 13を修了していること ・NCEA（National Certificate of Educational Achievement）Level 3に合格していること |
| 韓国 | <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校を卒業すること |
| 中国 | <ul style="list-style-type: none"> ・高級中学を卒業すること ・全国普通高等院校統一考試（高考）を受験していること |
| 台湾 | <ul style="list-style-type: none"> ・高級中学を卒業すること ・学科能力測驗または指定科目考試を受験していること |
| 国際バカロレア（IB）制度 | <ul style="list-style-type: none"> ・IB カリキュラムの履修を終え、最終試験6科目に合格していること ※滞在国または居住国に関わらず適用する |
| その他の教育制度 | <ul style="list-style-type: none"> ・滞在国または居住国の大学入学資格試験に相当するものを合格もしくは受験していること（詳細な内容に関しては要審査） ・上記に相当するものがない場合は、アドミッションズ・オフィスまで問い合わせること |

- ※1 出願時に上記証明書等が提出できない場合は、その理由について、学校が発行する英文の理由書を提出してください。入学時まで提出されない場合は合格を取り消し、その際、入学検定料および入学金は返還しません。
- ※2 日本語・英語以外の提出書類は、出身高等学校、大使館等の公的機関で証明された日本語訳または英語訳を添付してください。
- ※3 国により教育制度が異なるため、出願を認めない場合があります。出願資格の確認に時間を要するため、出願締切間際の出願とならないようご注意ください。
- ※4 居住している国・地域と異なる教育制度のもとで教育を受けている者は、事前に本学にお問い合わせください。

| 出願資格 | 証明書類 | 注意事項 |
|---|---|---|
| 高等学校卒業(見込み)者 中等教育学校卒業(見込み)者 高等専門学校第3学年修了(見込み)者 在外教育施設の当該課程修了(見込み)者 | 高等学校等の全期間の「調査書」 ・卒業見込み者は3年1学期までの成績が記載されたもの (3年1学期分が出せない場合は2年3学期までの成績と3年履修科目が記載されていること) ・2期制の高校を卒業見込みの場合は、3年前期までの成績が記載されたもの (3年前期分が出せない場合は3年前期中間まで、それが不可能な場合は2年後期までの成績と3年履修科目が記載されていること) ※調査書等は、発効日が2022(令和4)年4月1日以降のものを提出してください。 | 1 厳封されたものを提出してください。 2 指導要録の保存期間の経過等により調査書が得られない場合には、卒業証明書と成績証明書等をもって調査書に代えることができます。 3 調査書には卒業(見込み)年月の記載が必要です。 4 編入・転入した場合や、海外留学により単位認定を受けた場合は、編入・転入前に在籍していた高等学校や留学先の高等学校の発行する「成績証明書」を必ず調査書に添付してください。(証明書がコピーの場合には、高等学校長の署名、公印で原本と相違ないことの証明を受けてください。) 5 高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)により単位認定を受けた場合は、当該科目の「科目合格証明書」を併せて提出してください。 ※在籍期間が短く、調査書や成績証明書が発行されない場合には、その旨が明記された高校作成の書類を提出してください。 |
| 外国において12年の課程を修了した者(または修了見込みの者)およびこれに準ずる者 | ①「成績証明書」 ②「卒業(修了)証明書」または「卒業(修了)見込証明書」 | 1 いずれも厳封されたものを提出してください。 2 日本の高等学校に在籍した場合は、日本の高等学校在学中の調査書もしくは成績証明書も必ず提出してください。 3 学校概要(高校のパフレット・School Profile等)も提出してください。 4 「成績証明書」について ・Official Academic Transcriptまたは学校で証明を受けたCertified true copyを提出してください。成績証明書の単なる写し(コピー)では受理できません。 |

| 出願資格 | | 証明書類 | 注意事項 |
|-------------------------------------|--|--|--|
| 文部科学大臣の指定した者 * 昭和23年文科省告示 | 国際的な評価団体 (WASC, AC SI, CIS) の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者(見込み者) | ①「成績証明書」 ②「卒業(修了)証明書」または「卒業(修了)見込証明書」 ③「当該教育施設が文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けた教育施設であることを証明する書類(当該学校長が発行するもの)」 ※すでに文部科学省が評価団体の認定を受けていることを公表している教育施設の場合は不要です。 ※認定を受けていないアメリカンスクール、インターナショナルスクールについては、事前にアドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。 | <ul style="list-style-type: none"> • 教育制度上、書式の定まった成績証明書が無い場合は、特に書式は指定しません。成績証明書の提出が不可能な場合は、学期ごとの学業評価レポート等の写しを提出してください。 5 「卒業(修了)証明書」または「卒業(修了)見込証明書」について • 必ず卒業(見込み)年月が明記されたものを提出してください。成績証明書に卒業(見込み)年月の記載がある場合は不要です。 • Graduation Certificate または学校で証明を受けた Certified true copy を提出してください。証明書の単なる写し(コピー)では受理できません。「卒業証書(Diploma)」の写しを提出する場合は、原本から正しく複製されたもの(Certified true copy)であることを証明を出身高等学校から受けたうえ、提出してください。 |
| | 国際バカロレア資格取得者 | ①所属する教育施設の「成績証明書」 | |
| | アビトゥア資格取得者 | ②所属する教育施設の「卒業(修了)証明書」または「卒業(修了)見込証明書」 | |
| | バカロレア資格取得者 | ③資格に応じて次のとおり ※国際バカロレア a. 国際バカロレア資格証書の写し b. 国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書 ※アビトゥア(ドイツ) Abitur 資格証書の原本 ※バカロレア(フランス) a. Baccalaureat 資格証書の原本 b. Baccalaureat 資格試験成績証明書 ※GCE A レベル(イギリス) GCE A レベル資格証書の原本 | |
| 専修学校の高等課程修了(見込み)者 | ①「成績証明書」 ②「卒業(修了)証明書」または「卒業(修了)見込証明書」 | 1 調査書が発行できる場合は併せて提出してください。 2 いずれも厳封されたものを提出してください。 | |
| 高等学校卒業程度認定試験合格者(見込み者)および大学入学資格検定合格者 | 「合格成績証明書」(合格見込み者は「合格見込成績証明書」) | 1 厳封されたものを提出してください。 2 一部の科目を高等学校で修得した場合は、調査書もしくは「単位・成績修得の証明書」(履修した高等学校等で発行する証明書で、科目ごとの修得単位数と成績が記載されたもの)を併せて提出してください。 | |

※1 調査書等は、発行日が2022(令和4)年4月1日以降のものを提出してください。(「大学入学資格検定合格者の当該試験等の成績証明書」は除く。)

※2 日本語・英語以外の提出書類は、出身高等学校、大使館等の公的機関で証明された日本語訳又は英語訳を添付してください。

○ 大学案内等の請求方法

(1) 大学のウェブサイトから請求する場合

大学のウェブサイトからテレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。

詳しくは、本学ウェブサイト (<https://web.aiu.ac.jp/>) をご覧ください。

(2) インターネットで請求する場合

①テレメールのサイトにアクセスしてください。

| | | | |
|-----------|---|--------------------------------|---|
| インターネットから | https://telemail.jp | QRから アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。 |  |
|-----------|---|--------------------------------|---|

②請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

| 資料名 | 資料請求番号 | 料金（送料含） | 発送開始予定 |
|---------------------------|--------|---------|--------------------|
| 大学案内 | 569422 | 215円 | 6月初旬 |
| 特別選抜学生募集要項（9月入学） +大学案内 | 589432 | 250円* | 発送中 (2022年9月入学) |

※記載の料金は資料の重さに応じて変更となる場合がありますので、ご了承ください。

- 17時30分までの受付は当日発送、17時30分以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一齐に発送します。なお、発送開始日は変更になる場合があります。
- 通常は発送日のおおむね3～5日後にお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、資料を請求する曜日やお届け先地域、郵便事情によってはお届けに1週間以上要する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 料金の後ろに※印のある資料は、追加料金200円で「1～2日後に届く発送サービス」をご利用になれます（予約受付中を除く）。本サービスをご利用の場合は、発送日のおおむね1～2日後にお届けできます（土曜・日曜・祝日も配達あり）。ただし、お届け先地域や郵便事情によっては3日以上かかる場合があります。
- 発行部数に限りがありますので、早期終了する資料もあります。お早めにご請求ください。

③ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。（テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要）

- 資料請求終了時および受付確認メール内に表示される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。なお、「1～2日後に届く発送サービス」は、日本郵便の追跡サービスがご利用になれます。
- 随時発送の資料が1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を1週間過ぎても届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変更になっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達は通常ありませんので、お急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認した上で、お問い合わせください。
- 資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。
- 料金のお支払い方法は「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay 請求書支払い、PayPay 請求書支払い、au PAY 請求書支払い）」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます。コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料118円が、ケータイ払いとクレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料30円が、支払い時に別途必要です。

(1)(2)の請求方法についてのお問い合わせは

テレメールカスタマーセンター IP 電話 050-8601-0102（受付時間 9:30～18:00）まで

TOEFL (TOEFL iBT、TOEFL ITP および
／または TOEIC) はエデュケーショナル・テ
スティング・サービス (ETS) の登録商標です。
この冊子は ETS の検討を受けまたはその承認
を得たものではありません。

【入学試験に関するお問い合わせ先】

※電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

〒010-1292

秋田市雄和椿川字奥椿岱

国際教養大学事務局 アドミSSIONズ・オフィス

TEL：018-886-5931（平日のみ） FAX：018-886-5910

<https://web.aiu.ac.jp/>

E-mail：info@aiu.ac.jp